

学校だより

四日市立八郷小学校発
平成23年9月15日発行

《 No.13 》

【第2回 学校運営協議会の開催】

第2回学校運営協議会が、9月8日（木）に開催されました。



今回は、1学期の後半、及び、夏休み中の教育活動やコミュニティ活動、PTA活動などパワーポイントを使った映像で紹介し、活動を共有していただきました。

特に、子どもたちの学力に係わる算数補充教室、学習相談日、図書館開放については、子どもたちの感想や数値化により、成果や次年度への課題、改善について意見をいただきました。

第2回運営協議会では、次の2点についてのご意見をいただき、実践していくことが決まりました。

- ① 学校運営協議会・拡大委員会の担当によるコミュニティスクールとしての活動をリーフレットにまとめ、地域・家庭・学校の協働のあり方や活動内容、これからの展望についての周知をはかるため、八郷地区全戸配布を行う。めどとして、地区文化祭（11月）までに実施する。
- ② 運動会種目に「コミュニティ競技」を入れ、教育活動や子どもたちの安全・安心のため、お世話になっている方々をお招きし、子どもたちといっしょに競技に参加していただき、交流を深めるとともに、感謝の意を表す。

また、夏休みに学校運営協議会委員の皆さん、地域の有志により、「学校資料室」開設のための作業をしていただき、一応の完成を見ま

した。今後も、資料集などに取組んでいきますが、9月より子どもたちに開放しています。自由参観などで来校されましたら、ぜひとも参観いただきますようお願いいたします。

【PTA運営委員会・環境整備作業】

《運営委員会》

台風12号のため、1週間延期しましたPTA運営委員会を9日（金）に行いました。夏休み中のPTA活動の経過や反省、2学期の取組みについて各部会で話し合われました。

運営委員会後に行われたPTA役員会では、「運動会の際の駐車場」について話し合われました。

今年も、エンゼル幼稚園・あさけワークス・水道局グラウンド（保護者用）、JA駐車場（来賓用）としてお借りしました。限られたスペースですので、全ての車が駐車できるわけではありません。また、運動会途中での車の出入りもあります。

昨年度もPTA本部役員の皆さんに「駐車場担当」として、朝早くから車の整理をお願いしました。自分のお子さんの演技をほとんど見るができなかった上に、「指示に従ってもらえない」「暴言をいわれる」など、不愉快になることも多く、「親としてのモラル」を疑問に思う言葉を聞きました。

今年度は、昨年度のようなことが無いよう、「みんなで気持ちよく子どもの応援ができる運動会」を目指し、保護者の皆様のモラルを子どもたちに見せてあげてください。

児童会の役員選挙のとき、子どもたちには「自分たちの選んだ役員にどれだけ協力するか、それが選んだ人の役割です」と指導しています。

《環境整備作業》

環境整備作業も1週間遅れたため、地域の行事と重なったところもあったかと思いますが、多くの方に参加いただきありがとうございました。運動会を控え、

裏面に続きます

学校の内外をたいへんきれいにしていただきました。

本校では雑草だけでなく、大雨の降ったときの土が流れる、風が吹くと土が飛ぶということも多く、溝のつまりや土の吹き溜まりができ、近くの民家にもたいへんご迷惑をおかけしているところ。教育委員会に要望もあげていますが、なかなか改善に結びつかないのが現状です。今回も、溝の土をあげてもらうのはたいへんな作業であったかと思えます。ありがとうございました。



【三沓社会科作品展・科学作品展】

学校での「夏休み作品展」の終わったあと、次の作品が八郷小学校の代表として、四日市市・三重郡の作品展に出品しました。

1年 いながき はると さん 「ぼくの三岐鉄道の旅」

1年生の子どもにとって、わずか45分の鉄道の旅とはいえ、そのわくわく・ドキドキ感は、大人になっても忘れられない思い出です。そのわくわく・ドキドキ感が対象（駅）をしっかりと見つめ、発見につながることで、私も含めた人との出会いにつながることで良く分かる作品です。

1年 中村 もえ さん 「いさかちょうはこなまち」

自分の生活の場であることが素直な言葉で表現されています。お家の方といっしょに自分の住む町を歩き、写真に撮り、話をする。子どもにとってはとても楽しい時間を過ごしていることを感じます。

2年 大はし 一心 さん 「しらべてみたよ やさとの信号 2 ～信号のひみつをさぐれ～」

昨年に続いて同じテーマに取り組んでいます。それだけに、昨年に比べて、調べる範囲・量の広がり、疑問を解決するために調査し、それが新たな疑問を生む。最後に来年に続くという言葉が楽しい。このまま6年間この課題を追求すれば、信号博士になれるのでは。

2年 千葉 諒子 さん 「やさとの公園、大ちょうさ」

自分の住む伊坂台と八郷の他地区との比較、そして、四日市市への広がり、生まれる疑問を解決するための聞き取り。正に、社会科の研究の基本が詰まっています。

3年 中村 友香 さん 「見つけた、地図記号になるところ」

3年の社会科で学習した「地図記号」を知識としておぼえるだけでなく、その場に行って、地図記号がなぜそのようなマークをしているのか、行くことによって持つ疑問がまとめられています。この研究によって、本当の知識として身についたと思います。

4年 太田 美音 さん 「水の旅」

この作品も4年の1学期の学習が生きた研究になっています。見学会に参加してもらった資料を再度読み直し、自分なりの考えにまとめる。自分で確かめることが、研究のテーマを整理して、再構成する作品となっています。

5年 福澤 貴裕 さん 「四日市公害の軌跡 ～安全性とともに～」

まず、調べようとした動機が素晴らしい。家族との会話が動機となり、調査・研究となり、自己の気づきになっています。また、家族との会話の中で生まれた課題なので、研究の方向にぶれのない作品になっています。

5年 田中 里奈 さん

「Welcome to my house! パート2」

この作品も昨年度から継続したテーマでの取り組みです。昨年度に比べてたいへん内容が充実しています。継続して取り組むことが研究の仕方やまとめ方、調査の仕方を向上させる典型的な作品と感じます。今年は、アメリカと日本の文化の違いにまで踏み込んでいると思います。

科学作品展出品作品は次回記載します。

